

《担当者名》○塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]  
石角 鈴華 [ishizumi-re@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

本科目では、現在の我が国の医療状況を鑑みてプライマリ・ケアNPの役割の検討、プロフェッショナル・ディベロップメントとしての役割開発について学修する。また医療安全の基礎についての知識を習得し、医療の質向上とNPの役割について検討する。併せて、インフォームド・コンセントについて基本的な概念を押さえ、医療安全における患者との関係性構築に関する演習を行う。

【学修目標】

1. 現在の我が国の医療の現状について理解し、医療の偏在などの課題を検討できる。
2. 現在の医療の課題を基に、プライマリ・ケアにおけるNPの役割について文献購読を通して考察できる。
3. エビデンスに基づく医療の提供の概念を理解し、その重要性を認識する。
4. 医療安全の基本的枠組みについて説明できる。
5. 患者・医療安全に関連する法規について、理解できる。
6. 患者・医療安全におけるコミュニケーション技術について説明できる。
7. 患者中心の医療におけるインフォームド・コンセントについて理解でき、ロールプレイができる。
8. 患者・医療安全におけるNPの役割について考察し、役割開発につなげることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	オリエンテーション 患者中心の医療とNPの役割	【講義】 ・OECDデータからみえる本邦の医療の現状と課題 ・医療課題とプライマリ・ケアにおけるNPの役割 ・医療の質向上モデル：ドナベティアン ・現行の保助看法と高度実践看護師の実践	塚本 石角
3	NPの役割	【講義】 ・我が国と諸外国におけるNPに関する歴史の変遷 ・NPの役割に関する文献購読とクリティーク ・NPの実践に関連するアウトカム	塚本 石角
4	NPの役割開発	【講義】 ・International Council of Nursingの定める Advanced Practice Nursing と役割開発 ・役割開発に関する理論的枠組み	塚本 石角
5	NPの役割開発	【講義・演習】 ・Professional development とポートフォリオ ・現段階でのポートフォリオの作成	塚本 石角
6 ) 7	NPの役割及び役割開発に関するプレ ゼンテーション	【演習】 ・NPの役割及び役割開発に関する文献購読、及びクリ ティークを基に、今後の役割及び役割開発についてプレ ゼンテーションを行う	塚本 石角
8	患者安全と医療安全： 安全に関連する法規	【講義】 ・患者中心の医療におけるEvidence Based Practice	高水 勝（特別講師） 塚本 石角
9	患者安全と医療安全：医療安全の基 本的枠組み	【Web-Learning】 以下の内容に関する動画を視聴し、課題を行う ・医療安全の基本的考え方 ・日本における医療安全の施策と動向 動画視聴：60分 課題レポート：30分	塚本 石角
10	患者安全とインフォームド・コンセ ント	【講義】 ・インフォームド・コンセントの概念	塚本 石角

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォームド・コンセントの成立要件</li> <li>・インフォームド・アセント</li> <li>・インフォームド・コンセントと法律</li> </ul>	
11	医療安全とHuman Factors	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Human Factors とHuman Error</li> <li>・エラー防止のための方策</li> </ul>	塚本石角
12	医療安全と組織	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織における医療安全体制</li> <li>・組織における安全文化の促進</li> </ul>	高水 勝（特別講師） 塚本石角
13	事例から学ぶ医療安全	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故の事例を取り上げ、事故発生のメカニズムと根本原因分析の方法についてディスカッション</li> </ul>	塚本石角
14 15	医療安全とインフォームド・アセント、コンセント	<b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床の実際の場面を想定し、インフォームド・アセント及びコンセントの演習を行う</li> </ul>	塚本石角

**【授業実施形態】**

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

筆記試験（30%）、レポート・プレゼンテーション（50%）、演習（20%）を総合して評価する。

**【教科書】**

適宜提示する。

**【参考書】**

適宜提示するが、下記に一部紹介する。

Hamric, A., et al. (2018). Hamric and Hanson's Advanced Practice Nursing 6th Edition. Sanders

看護協会編（平成25年）. 医療安全推進のための標準テキスト. Available online:

[https://www.nurse.or.jp/nursing/home/publication/pdf/guideline/anzensuishin\\_text.pdf](https://www.nurse.or.jp/nursing/home/publication/pdf/guideline/anzensuishin_text.pdf)

**【備考】**

**【学習の進め方】**

すべてのテーマにおいて、事前の学修課題を呈示する。実際の授業では、事前の学修課題のディスカッションを中心に進めることでアクティブラーニングを推進する。

**【学修の準備】**

参考文献を熟読しておくこと

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。